

駒ヶ根民報

No.1384

2017.07.02

日本共産党

駒ヶ根市委員会

TEL 83-2969

6月議会一般質問

竹村ほまれ議員

①教員の過剰勤務の実態と改善は ②Aコープ中沢店の閉店への対応は

梅雨にはいりましたが、雨の少ない陽気に、野菜の成長もイマイチです。降りすぎても困りますが、梅雨時期の雨は必要不可欠です、それなりに降って欲しいものです。(一)

今回は6月議会一般質問「竹村ほまれ議員」の質問を紹介します。



教員の超過勤務の実態は

質問 学校教員の給与等に関する特別措置法により時間外勤務は適用されない等により、教員の超過勤務が把握されにくい実態がある。現場では月80時間に及んだり、部活をもっている教員は100時間を超えるという声も聞かれる。学校では超過勤務の実態を調査しているのか。

勤務の状況を捉えている

教育長 学校でも、市教育委員会においても県教委の調査を通じて各学校毎の勤務の状況を捉えている。平成27年5月に58時間04分等。改善は進んできてはいるが少なくとも数字だと認識している。

行き過ぎた事例へ対応は

質問 文科省が教師を対象に勤務時間の調査を行っているが、中学校の教師の57%が、過労死の目安とされる月80時間を超える時間外労働をしている。行き過ぎた超過勤務に対して対応や指導は的確に行っているのか。

国や県の動向を踏まえる

教育長 勤務の多い職員への個別の指導、市費で雇う教職員の配置、部活動に係る基準をつくり休養日を設け稼働時間を制限している。また、市教委の事務局の中に指導主事や相談員を置き学校支援体制を構築しようとしている。

課題の投げかけは適切か

質問 市町村や教育委員会から様々な課題が学校側に持ち込まれて、教員や学校の負担が大きいと聞くと学校への指導や課題の投げかけは適切に行われているのか。

一方的な押し付けしない

教育長 学校に一方的に押し付けるのではなく、学校と一緒に考えて取り組んでいくという方針をとっている。

教員の犯罪・自殺原因は

質問 教職員による犯罪や自殺も社会問題にもなっている。超過勤務等により教員が抱えるストレスや心の余裕を持ってないことも、その要因ではないかと考えるが原因をどの様に捉えているのか。

要因の一つと考える

教育長 ストレスの一つの要因となれば関係していると思う。労働安全衛生法に基づくとストレスチェックを全職員対象に実施しておりメンタルヘルス不調の未然防止に努めている。

加配の配置は適切か

質問 特別支援学級の加配等、先生の配置が少ないとの意見も聞くと適切に配置されているのか。

支援員22人を市費で

教育長 県教委の教員配置は

適切に行われている。市独自の施策としては特別支援教育の支援員22人を市費で行っている。



Aコープ中沢店閉店は

質問 Aコープ中沢店の拙速な閉店は住民生活に支障を与えている。中沢唯一の生活店舗に依存する高齢者世帯等にとっては無くてはならない店舗であり、撤退する前に何らかの行政も交えた対応が図られるべきだと考えるが、市の見解は。

要慮する事態となった

市長 市へもJAから事前に何ら協議等は無かつた訳で、非常に残念であり要慮する事態になったと思っている。

行政としての対応は

質問 高齢世帯など生活弱者貴い弱者への喫緊の対応が求められる。行政としても何らかの生活維持支援やJA上伊那と話し合いを持ち、店舗継続を前提に赤字補てん等、施策を図ることは出来ないか。

実態把握をして影響が最小限に留まる方法を探る

市長 市として実態把握に努めており情報が纏まり次第早急に地元と協議を行い出店の可能性や移動購買者、或いは宅配サービスなどの活用により買い物弱者への影響が最小限に留まるような方法を探っていきたい。

閉店は過疎化に拍車、拠点をどの様に守っていくか

質問 地区で唯一の食料品資材を扱う店舗の撤退は、中沢区に限らず、過疎化に拍車をかける深刻な要因だ。地域の拠点をどの様に捉えて守っていく考えか。

地域と行政が汗をかく

市長 当市も総合的に考えているが、行政のみで進めることは難しい。地域の皆さんと行政もしっかり汗をかき中、何が必要かを決めていく事が最善と思っている。

平和を願う意見書 不採択

本会議で「平和憲法9条改悪阻止を求める意見書」が否決されました。委員会でも改憲の慎重審議を求める陳情や共謀罪廃止を求める陳情等が、共産党以外の全員の議員により否決されており、毎回続く余りにも世論とかけ離れた当議会の極端な判定動向に「駒ヶ根市議会とは異常！」との声が内外から上がっています。